

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産の増減額及びその残高

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 投資有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価差損益

投資有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価差損益は、次のとおりである。

内 訳	帳簿価額	時 価	評価差損益
投資信託	49,083,860 円	51,675,399 円	2,591,539 円

10. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容
該当なし

12. 重要な後発事象
該当なし